



# 一徹一夢

# 2012 VOL.3

<http://www.yoshifumi.net>

ご意見をお寄せ下さい。



## 参議院議員 松村祥史



みんなで作ろう、  
熊本の元気!

くが  
ま  
だ  
せ  
と。

よしふみレポート 新年を迎えて  
フォトレポート 松村祥史 半年の軌跡  
けいじばん 臨時国会を振り返って

9月7日 宮城・福島被災地視察(宮城県名取市閑上地区)



## 新たな思いで

昨年は決して忘れない、忘れてはならない三・一一東日本大震災。都内のビル八階で開かれた大会に出席し、挨拶を終えたまさにその時でした。頭をよぎったのは、死ぬかもしれない、という思いでした。数日後、帰郷した際に家族と会って涙が出ました。生きていくことはありがたい、とつくづく感じました。

それ程怖かった地震に復旧、復興に向けて立ち上がる被災地の方々の姿に、日本人のすごさ、逞しさみたいなのを感じました。苦しくも、誇りに思う一年でした。

ことは年男。新たな思いで日々精進します。

## 国会論議

政治的には、言っていることとやっていることが違うばかりか、まともな法案も提出できない、将来像が示されない民主党政権ではダメだ、ということを実院自民党の国会対策委員長として追求し、解散に追い込まなければならぬとまい進しましたが、三・一一後はそれどころではなく、被災された方々の「何とかしてほしい。」という切実な声を受け、復旧・復興に全を尽くしてきました。

## 参院環境委員長に就任しました

昨年一〇月に、参院環境常任委員長に就任しました。福島第一原発事故の復旧に関わる放射性物質の除染、がれき処理など、国内の環境問題が課題になります。



環境委員長として挨拶(委員会室)



環境委員長としてフィンランド環境委員一行をお迎えして

## 東日本大震災対策

昨年八月に、議員立法で、放射性物質汚染対処特措法ができました。放射能を浴びたがれきを処理する法律がなかったため、自民党が中心となつて作つた措置法です。放射性物質のがれき処理などを行いつつ、放射能汚染地域二〇キロ圏内で被災された方々の生の声などを政府に伝えていきます。

政府は(二〇キロ圏内)地域に帰れませんが、帰れませんとも言っています。帰れるか、帰れないかが決まらなければ賠償問題に関する話も進みません。昨年十一月末、二〇キロ圏内の二回目の視察に行つて来ました。三・一一以降時間が止まっているとあらためて実感しました。



9月7日 宮城・福島被災地視察(宮城県名取市関上地区)



20km圏内を視察(福島県)

## TPP問題

TPPの参加問題には賛否両論ありますが、反対の立場です。

そもそもTPPは、新興国の皆さんが関税を撤廃して仲良しグループを作ろうというものでした。アメリカが入り、環太平洋諸国で議論を進めたのです。目的は例外なき関税撤廃であり、貿易を加速しましょうという事です。

一番はつきりしているのは、よく分からないということがはっきりしたということです。野田総理には、国会で十分な議論なく参加表明するのはおかしいと申し上げてきました。

## 今年の目標

民主党はマニフェストで食糧自給率を五〇%まで上げるとしています。TPPに参加すればどうなるか、そこをきくのをどう説明するのでしょうか。TPPに参加した場合、農業が基幹産業の熊本県は、後継者不足に加えて産業としての農業までが成り立たなくなる可能性ががあります。少子高齢化は一層進み、地域の疲弊が加速します。丁寧な議論が必要なのです。

先ず、被災地の復旧・復興に全力を尽くすことです。中・長期の計画を明確に示すことで被災地の方々が一日も早く元の生活、それ以上の生活を取り戻し、希望を見出すように頑張ります。もう一つは、デフレ脱却に全力で取り組みます。

最後に、国民の声を忘れては自民党の将来はありません。自民党はやっぱり地域に根差した政党であり、地道な活動が、自民党が地域や若い世代にも深く根を広げていくものと確信しています。

今一度、自民党が信頼を回復し、解散総選挙を経て政権を奪還する一方、国の形をしっかり示したいと思えます。



# 松村祥史 参議院議員 よしふみ 半年の軌跡



蒲島県知事、幸山熊本市長等と谷垣自民党総裁に要請(総裁室)



たばこ耕作者の皆さんと(国会前)



商工会職員協議会の皆さんと(委員長室)



林野庁長官に要請(林野庁長官室)



TPP反対集会にて(両国国技館)



祥援隊忘年会(熊本市)



熊本市保育連盟運動会にて(熊本市)

くまもと物産フェア  
(益城町)



くまもと物産フェア開会式にて(益城町)



田崎市場祭りで幸山熊本市長と(熊本市)



球磨・人吉を語る会(熊本市)



TPP反対決起大会(益城町)



保育協会の皆様と(八代市)



宇土市産業祭にてアントキの猪木さんと(宇土市)



宇城市物産展にて(宇城市)



けいこばん

臨時国会を  
振り返って

自民党の主導による  
復旧・復興の対策・予算の決定

私たち自民党は、これまでの経験やノウハウを総動員して、五七七項目の政策提言や十二本の議員立法を提出するなど、大震災からの復旧・復興に全力で努めてきました。第一七九回国会が閉幕しましたが、この国会においても私たちは、被災された方々を最優先に考えた法案修正を政府・民主党に働きかけ、それを成立させることで野党としての責務を果たしました。

第三次補正予算

今度の国会で、復興債の発行に踏み切った本格的な「第三次補正予算」が成立しました。この補正予算は、私たちが七月の時点で提案した、復興債を主な財源とする十七兆円規模の復興対策案がもととなっています。残念ながら私たちの提案から四ヶ月遅れての成立となりましたが、復興に向けて一定の成果があげられたと考えています。

二重ローン救済法

私たちは、三月末に発表した「第一次緊急提言」の時点から二重ローンの問題を指摘し、解決策を提案してきました。現行法の枠から踏み出せないでいた政府・民主党を根気強く説得し、この国会で対象者を拡大した新たな「二重ローン救済法」を成立させることができました。

復興庁設置法

政府から提案された「復興庁設置法」に修正を加え、復興庁が企画立案・予算配分

から箇所付け、実施まで一貫して行うことが可能な形にした上で、法案を成立させました。来年にもスタートする復興庁を被災地のためにフル稼働させることが、これからの私たちの仕事だと考えています。

平成になってから

最低の法案成立率三四・二%  
民主党の政権能力の限界を露呈

今国会の法案成立率は、平成になってから最低の三四・二%でした。同じ「ねじれ国会」であった平成十九年の安倍・福田内閣の第一六八臨時国会では七三・七%であり、平成二十年の麻生内閣の第一七〇臨時国会でも四一・一七%でした。これはわが党が野党の声を聞きながら丁寧な運営をしたからにはほかありません。政府・民主党は、わが党が何度も提案・修正を求められても「知らん振り」。これでは政権与党の責任は果たせません。

今国会で成立しなかった重要な法案

●公務員給与削減法案

人事院勧告を守り、深掘の削減をし、地方公務員にも波及する給与削減法案として、自民・公明両党で国会に提出した。与党側は労働組合の反対で人事院勧告の実施と地方公務員への波及を拒否。

●労働者派遣法改正案

製造業業務派遣や登録型派遣を禁止する条項を削除するなど、企業活動に支障をきたさないよう修正した法律案。わが党も審議促進に協力し委員会採決まで持つて行ったものを政府・与野党側の都合で本会議採決を一方的に拒否。

●グローバル企業研究開発事業  
促進特別措置法案

グローバル企業の研究開発拠点やアジア本社のわが国への呼び込みを推進するため、法人税負担軽減や特許料軽減等の措置を行う法律案。

参議院議員 松村祥史 まつむらよしふみ プロフィール

昭和39年4月22日生まれ 47歳(東京オリンピックの年です)。妻と子供4人(3男1女)です。

役職

(太字は現在)

政府 経済産業大臣政務官

国会 参議院環境委員会委員長  
参議院経済産業委員会委員、理事  
参議院決算委員会委員  
参議院災害対策特別委員会委員  
参議院政府開発援助等に関する特別委員会委員

自民党 経済産業部会副部長  
経済・財政・金融政策調査会幹事  
環境関係団体委員会副委員長  
商工・中小企業関係団体委員会副委員長  
たばこ特別委員会副委員長  
TPP参加の即時撤回を求める会委員  
LPG対策議員連盟幹事  
東日本大震災からの復興に関する特命委員会幹事  
全国保育問題議員連盟委員  
参議院自民党国会対策副委員長  
参議院自民党幹事長  
自民党青年局長(団体部長)  
自民党農林部会副部長

その他 熊本県商工政治連盟顧問/熊本市商店街連合会顧問  
熊本県優良住宅協会顧問/熊本県港湾協会顧問  
熊本県行政書士政治連盟顧問/全日本司厨士協会熊本支部顧問  
熊本県野球振興連盟顧問/全国商工会連合会顧問  
全国商工会青年部連合会顧問/全日本不動産政治連盟顧問  
専修大学校友会相談役/自民党熊本県参議院選挙区第一支部支部長 他

略歴

昭和58年 3月 熊本県立人吉高等学校 卒業  
昭和62年 3月 専修大学経営学部経営学科 卒業  
(東都大学リーグ硬式野球部)  
平成09年 5月 上村商工会青年部 部長  
平成11年 5月 熊本県商工会青年部連合会 会長  
平成13年 5月 全国商工会青年部連合会 会長(2期 4年)  
平成16年 7月 第20回参議院議員通常選挙に全国比例区で初当選  
平成19年 8月 参議院自民党副幹事長 就任  
平成20年 8月 経済産業大臣政務官 就任  
平成22年 7月 第22回参議院議員通常選挙に熊本選挙区で当選(2期目)  
平成22年 9月 参議院自民党国会対策副委員長 就任  
平成23年 10月 参議院環境委員会委員長 就任

国会事務所 / 〒100-8962  
東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館1023号室  
TEL03-6550-1023 FAX03-6551-1023  
yoshifumi\_matsumura@sangiin.go.jp

熊本事務所 / 〒862-0950  
熊本県熊本市水前寺6-41-5  
千代田レジデンス県庁東101号室  
TEL096-384-4423 FAX096-384-4424  
matsumura-jimusho@siren.ocn.ne.jp

県南事務所 / 〒868-0422  
熊本県球磨郡あさぎり町上北251  
TEL0966-45-1488 FAX0966-45-6525  
asagiri@yoshifumi.net